



市長 ありがとうございます。長浜市は2回の合併を経験し、1市8町が集まりました。この時期は、国政が「地方」に大きく舵を切り、令和は

市長 新元号の発表から、若い人からの人気も出て、政治に関心を持つてもらおう機会になったのではないですか。

菅 いい意味で注目されることになり、恥ずかしい感じもありますが、私自

市長 新元号の発表から、若い人からの人気も出て、政治に関心を持つてもらおう機会になったのではないですか。

菅 安倍政権は「地方の活力なくして国の活力なし」との一貫した考え方を持っています。日本国内の消費額のうち約7割が東京圏以外です。そのため、政権発足以来、観光や農業を新たな成長産業にして、それぞれの地方が工夫をして経済を活性化できるようあらゆる政策を講じてきました。

菅 そうですね。長浜市も長浜城、黒壁のまちなみ、曳山祭や湖北の観音文化など魅力的な資源を持っています。政権発足前、訪日外国人観光客は年間836万人でしたが、平成30年には3,119万人と4倍近くに増えています。ここ数年は地方への観光客がかなり増えています。それぞれの地域には、必ず素晴らしい魅力があります。それを再発見し

新たな時代に

市長 令和初となる広報ながはま新春対談に国の要である菅官房長官が登場されることは、長浜市民の大きな喜びとなりました。

さらに地方が主役の時代となると思っています。

新元号「令和」の墨書を高々と掲げられた時のお姿が非常に印象に残っています。地方分権をめざして国会議員になられた菅官房長官が、新元号を発表されることは、ご自身にとつて感慨深いものだったのではないですか。

地方の活力

市長 菅官房長官といえは、地方分権国家の実現をめざして、横浜市議会議員から国会議員に挑戦され、「頑張る地方応援プログラム」や「ふるさと納税制度」といった施策を推進され、常に地方に目を向けていただいていますね。



だ東京五輪・パラリンピックが開幕し、日本が世界から注目を浴びる年です。これを長浜が誇る美しい自然、素晴らしい歴史文化を全世界に発信できる絶好の機会と思っています。

新春対談

令和の時代に求められる長浜へ

内閣官房長官

菅 義偉

長浜市長

藤井 勇治



プロフィール すが よしひで 昭和23年秋田県生まれ。小比木彦三郎衆議院議員の秘書を務めたのち、昭和62年4月から横浜市議会議員を2期務める。平成8年10月衆院初当選、現在8期目。総務大臣、幹事長代行などを歴任。平成24年12月から内閣官房長官を務めている。

新年おめでとう

昨年「平成」から「令和」へ改元され、新しい時代を迎えました。

市では、虎姫地域・余呉地域のまちづくりセンターや「さぎなみタウン」が竣工し、長浜市がめざす市民協働のまちづくりの土台が整った年となりました。

住み慣れた地域の中で、生きがいを持って、元気に活躍できる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みをはじめ、市民の皆さんの日々の暮らしを最優先にした、未来を見据えたまちづくりに引き続き注力していきます。

令和初の新春対談に登場いただくのは、「令和おじさん」の愛称で人気の菅義偉内閣官房長官です。

国のスポーツスマンであり毎日2回の定例会見をこなす官房長官。歴代最長の在任期間にわたり国政の重責を担っている菅官房長官と市長が、市の発展・躍進に向けて大いに語り合います。

※14ページの「市民からのメッセージ」の対象です。